

乳がん検診（単独受診）について

<乳がん検診>

乳がんは乳腺の組織にできるがんで、多くは乳管から発生しますが、一部は小葉から発生します。乳がんの主な症状は、乳房のしこりです。自分で乳房を触ることで気付く場合もあります。ほかには、乳房にくぼみができる、乳頭や乳輪がただれる、左右の乳房の形が非対称になる、乳頭から分泌物が出る、などがあります。検診による早期発見が大切です。

→詳しくは[乳がん検診 | 女性の健康推進室 ヘルスケアラボ | 厚生労働省研究班監修](#)

<日赤健保での単独受診方法>

受診対象：35～74歳の女性（被保険者・任意継続被保険者）

※ 当該年度3月末日時点の年齢。

検査項目：乳房X線検査（マンモグラフィ）、超音波検査（エコー）

受診方法：

（1）健診機関の予約

- ・職場の健康診断で受診できる方は、人事労務担当者にご確認ください。
- ・職場の健診で受診しなかった方は、個人で日赤健保の直接健診機関に予約連絡してください。

（2）受けられる健診機関は、日赤健保直接契約の日赤医療機関または一般医療機関です。

※ 東振協提携先医療機関では健診コースの関係上、受診できません。

（3）健診の費用補助

費用補助上限額（超過する分が自己負担となります）

- ・乳房X線検査（マンモグラフィ）1方向：2,600円
- ・乳房X線検査（マンモグラフィ）2方向：4,000円
- ・超音波検査（エコー）：4,000円

※乳房X線検査と超音波検査を同時に受けた場合も補助上限額は4,000円です。
す。（超過する分が自己負担となります）